

～ “侍ジャパン”日本経済を牽引か ～

2009年WBCの経済波及効果は約506億円

大学院会計研究科 宮本勝浩教授が推定

このたび関西大学大学院会計研究科の宮本勝浩教授が、2009年ワールド・ベースボール・クラシック（以下、WBC）の経済波及効果について推定しました。

本報告書では、3月5日に開幕する2009WBCにおいて、日本の代表チームが決勝まで進出し優勝するものと仮定し、その間の経済波及効果を推定。計算の結果、経済波及効果は約505億5,405万円となり、2007年に大阪で開催された「世界陸上競技選手権大阪大会」を上回るものとなりました。

分析結果について、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

- 1 テーマ 「2009年WBCの経済波及効果」
- 2 発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
- 3 発表日 2009年2月22日
- 4 内容
 - (1) はじめに
 - (2) 合宿の経済効果
 - (3) 日本における試合の経済効果
 - (4) 第2ラウンド（アメリカラウンド）の経済効果
 - (5) 放映権収入の経済効果
 - (6) グッズ関係の売上げ経済効果
 - (7) 映像関係グッズの売上げ増加の経済効果
 - (8) 宣伝広告の経済効果
 - (9) 直接経済効果の総額
 - (10) 経済波及効果
 - (11) 結論

以上

- 1 この分析結果は、2月27日付スポーツニッポン紙に掲載されました。
- 2 分析結果からデータなどを引用される場合は、「関西大学大学院会計研究科 宮本勝浩教授分析」と記載していただきますようよろしくお願いいたします。
- 3 宮本勝浩教授は3月5日まで海外出張のため、同教授へのお問合せは3月6日以降にお願いいたします。

【プロフィール】

氏 名 宮本 勝浩(みやもと・かつひろ)
生年月日 1945年1月12日(64歳)
本 籍 和歌山県
現 職 関西大学 大学院会計研究科 教授
学 歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了
経済学博士(神戸大学)
職 歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、2006年4月より現職
この間、アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同济大学、南京理工大学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任
専門分野 理論経済学、国際経済学(移行経済論) 関西経済論
著 書 『大阪経済学』(共著、経営書)、『移行経済の理論』(中央経済社)など
公 職

財務省財政制度等審議会臨時委員
総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員
大阪府水道部経営・事業評価委員会委員長
大阪府市町村合併推進審議会会長
堺市人事委員会委員長
公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長
財団法人堺都市政策研究所理事長
など

業 績

- 2003年 「阪神優勝の経済効果」を発表
- 2004年 「球界再編の経済効果」、「プロ野球のストのマイナス経済効果」、「東北楽天の宮城県における経済効果」などを発表
- 2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セバ交流戦の経済効果」などを発表
- 2006年 「清原、中村選手のオリックス入団の経済効果」、「2008年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディーブインパクトの経済効果」などを発表
- 2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」を発表
- 2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」を発表
「くいだおれ人形の経済波及効果」を発表
「白毛馬ユキチャンの経済波及効果」を発表
「くいだおれ太郎の経済波及効果」を発表
「阪神タイガース優勝に伴う経済波及効果」を発表
「三毛猫『たま駅長』の経済波及効果」を発表
「ゴルフ・石川遼選手の経済波及効果」を発表

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 広報室広報課 / 鶴丸、北谷、木村

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>